



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dail-chu/>

令和6年度 第8号  
校長 鈴木 康治  
令和6年 11月13日

## 1.2年生 校外学習

11月1日(金)2年生は鎌倉に校外学習に行きました。雨天が心配されましたが、日ごろの皆さんの心がけのおかげで、ちょうどいい気候の一日でした。見学場所では班によっては、インタビューをすることになっていたようですが、しっかり聞き取りができたでしょうか。外国の方にインタビューした班もあるのかな?右の写真は明月院ですが、北鎌倉のあたりは人も少なく、自然もいっぱい、鎌倉駅や鶴岡八幡宮の周辺の賑わいが嘘のように、静かで穏やかな雰囲気でした。私はどちらかというと、静かな鎌倉の方が好きですが、皆さんはどうだったでしょうか。今回の校外学習で得た経験を、来年の修学旅行につなげていってください。



一方1年生は、11月7日(木)に東京下町に校外学習に行きました。朝夕の市川駅は風が強くてとても寒かったですが、こちらも日中はとてもよいお天気でした。浅草と上野を班別で回り、浅草では体験学習を行いました。江戸切子や藍染め、彫金、たい焼きづくり、食品サンプルづくり 陶芸等の体験を行ったようですが、思い通りに仕上げることができたでしょうか。きっとそれぞれいいお土産ができたことと思います。上野では美術館や科学館、博物館の見学をしたようですが、いかがでしたか。スケールの大きさにびっくりした人も多いのではないのでしょうか。



ところで、1,2年生の校外学習に同行させていただきましたが、どちらの学年も電車内のマナーがとても良いなあと感心しました。校外学習は混んでる電車に乗るので、少ししゃべったりするだけでも、一般のお客さんたちからは迷惑がられることが多く、苦情の電話がくることもしばしばなのですが、そんな心配はまったくありませんでした。日ごろの御家庭の教育力の賜物だなあとと思います。きっと班別行動もしっかりできたことだと思います。さすが一中生。

## いのちの学習

11月8日(金)3年生対象に「いのちの学習」を行いました。千葉県助産師会の小路和子(しょうじかずこ)さんをお迎えして、思春期を迎える生徒たちにとって、とても大切だけど、なかなかちゃんと勉強する機会のない「性」に関するお話をさせていただきました。小路さんは、豊富なこれまでの経験を活かし、数多くの小中学校で、生命の大切さや性についての御講演をされています。本校では毎年2,3年生対象に「いのちの学習」として行っており、2年生は11月25日にお話を聞く予定です。自分の体のことについて、じっくり考える機会となるといいと思います。



# 一中オリジナルキャラクター 決定

生徒総会で提案があり、生徒会が呼びかけを行っていた、「一中オリジナルキャラクター」ですが、生徒の皆さんから寄せられたいくつかの案の中から投票が行われ、この度、3年2組の さんが考えた、「えのふく」が選ばれました。えのふくについて紹介させていただきます。



## 新制服見本は学区小学校へ

10月から行っていた、校長室前での新制服の展示ですが、予定の1か月を終え、今は、学区の小学校（中国分小、国府台小、市川小）に順番に展示してもらっています。一中には今月末ごろに戻ってきます。どうしてももう一度見たい！という方は、その後またしばらくは校長室内に置いておくので、遠慮なく校長室に来てください。

# ドイツ生徒歓迎会

10月22日、ドイツから市川市に来ている生徒8名が一中に来校し、歓迎会を行いました。当日は1,2年生が参加し、ドイツ生徒の発表（文化や食べ物、自然など）を聞いた後、2年生が交流会としてレクを行いました。発表では、容赦ない英語の嵐で、とまどった人も多いと思いますが、あのよう英語を浴びるように聞くことを、「イングリッシュシャワー」と言って、英語の学習として非常に意義があるといわれています。全ては分からなかったかもしれませんが、写真などを見ながらなんとなく言いたいことは伝わってきたのではないのでしょうか。また2年生のレクでは、楽しそうに活動するドイツの生徒の姿が印象的でした。ドイツの生徒はみんな大人びて見えますが、一緒にレクをしてみると、自分たちとそんなに変わらないなあと思った人も多いのではないのでしょうか。当日の皆さんの感想を読むと、とてもいい経験をしたことが分かります。3年生は今回参加できず残念でしたが、機会があったら海外に行ったり、海外の方と交流したり、してみてください。将来当たり前のよう海外の方と関わるようになる人も多いと思います。英語は大事だなあ…と今更ながら私も思っています。そういえば、ドイツ語で挨拶したり説明したりした2年生の皆さんすごかったですね。びっくりしました。



皆さんの感想のいくつかを掲載させていただきます。

- 言葉もほとんど通じない300人ほどの生徒がいる中でスピーチができるのは本当にすごいと感じた。たとえ言葉は通じなくても、ジェスチャーや表情などで、自分たちにドイツのことを一生懸命に伝えようとしていたことが伝わってきた。今回の集会で、たとえ言葉が通じなくても、自分が他のだれかと違って、全力で取り組みれば、その分結果が返ってくるのだと思った。
- 私たちの話す言語は全く違いますが、相手が一生懸命に伝えようとしていることはわかるということを知りました。違う国にいるから伝えられない、と思うのではなく、違う国にいるからこそ伝えられると思うようになりました。
- ローゼンハイムの人達は堂々としていて、発表しているときも、はきはきとして、大きな声を出している姿に憧れました。
- 英語が非常に流暢で、とても聞き取るのが大変でしたが、スライドが非常に見やすかったため、最後まで集中して聞くことができました。ドイツの学校や食文化の話はもちろん、美しい建物など、ヨーロッパの文化は本当に素敵だと思いました。
- 自分はドイツの文化はビールぐらいしか知りませんでした。今回の発表で、新しい知識を得ることができました。特に昔の建物、美しい山脈など知らなかったことをたくさん学ぶことができました。自分は将来ヨーロッパに留学してみたいと考えているので、今回の発表がとても参考になりました。
- 大縄はなかなか飛べなくて心配でしたが、7回飛べたときのドイツの生徒の嬉しそうな顔を見て、私もうれしくなりました。
- いつかドイツへ行きたい、と思える発表で、非常に素晴らしかったです。おいしいプレッツェルが食べたい！
- ドイツの学校も日本と同じように成績が出たり、朝が早かったりと共通点が多く、親近感がわいた。逆に朝食でプレッツェルを食べたり、大きいお城があったり、日本と異なる文化について知ることができました。

- ドイツにしかない文化や、有名な食べ物などをたくさん知ることができ、聞くことがとても楽しかったです。私は英語が苦手で、ほとんど聞き取れませんでした。市川市とローゼンハイム市の間には信頼関係があるのだと感じました。
- 外国人は怖いイメージを持っていたのですが、ドイツ人生徒は非常に謙虚で、日本人と似たような雰囲気を感じました。
- みなさん美しい人しかいなくて驚きました。発表は棒読みでなく、コミュニケーションをとっているように自然でした。
- この発表を通して、ドイツの言語、街並みに興味を持ちました。ドイツ語を学んでみたいですが、発音がとても難しそうです。
- ドイツの生徒が頑張って話してくれていたのに、何を言っているのかあまり理解できず、頷くなどの動作もせずにポカンと聞いてしまったのが非常に申し訳なかったです。朝ごはんがとても豪華でうらやましかったです。
- 私も皆さんのように、言葉が通じなくても思いが伝えられるような発表ができるようになりたいです。
- ドイツのクリスマスマーケットは本当に楽しそう！海外旅行に行きたい気持ちが強くなりました。
- 国も違うし、言語も違う。けれど一生懸命にプレゼンテーションしてくれて、しかも「こんにちは」と言ってくれて、人間に越えられない壁はないことを知った。
- ずっと日本で暮らしている私たちは、あまり海外の方々から生活のことや食べ物のことを話してもらう機会はないので、とても良い経験になりました。私たちはドイツ語が分からず、ドイツ人生徒は日本語がわからないという状況で、世界共通言語である英語を使い、言葉の壁を乗り越え、伝えてくれようとしてくれたので、私も一生懸命聞くことができました。改めて成果を知ることの大切さを認識しました。
- 発表が素晴らしかったので、とてもお腹が空いてしまいました。
- 大勢の人の前に立っても一切緊張する様子を見せない姿に憧れました。
- 写真を見て、景色がとてもきれいだったので、ローゼンハイムに行ってみたいと思いました。